別　記
様式第1号（第8条、第9条、第12条関係）

事業者行動（計画・変更計画・報告）書

2023年　9月　6日

（宛先）
滋賀県知事

提出者
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
滋賀県甲賀市甲賀町大原市場168

氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）
大昭製薬株式会社
代表取締役　奥田正

滋賀県CO_2ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例［~~第25条第3項・第25条第4項~~ ~~第27条第1項・第27条第2項において準用する同条例~~ ~~第26条第1項~~ 第27条第2項において準用する同条例第26条第1項］~~第25条第4項~~ の規定に基づき、［~~事業者行動計画を策定~~ ~~（変更）~~ 事業者行動報告書を作成］したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）	大昭製薬株式会社 代表取締役　奥田正
事業者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	滋賀県甲賀市甲賀町大原市場168

1　事業者の概要

事業所の名称	大昭製薬株式会社					
事業所の所在地	滋賀県甲賀市甲賀町大原市場168					
主たる事業	日本標準産業分類細分類番号	1	6	9	9	※ 産業分類・細分類名称を記載
事業の概要	医薬品製造業					
従業員の数	79　人	操業時間	8　時間／日			
該当する事業者の要件	☐ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500ｷﾛﾘｯﾄﾙ以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☑ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	3　台	熱源設備	台	照明設備	台
	コンプレッサ	3　台	空気調和設備	5　台	その他	

2　計画期間（および報告対象年度）

計画期間	開始年度	2　年度	報告対象年度	4　年度
	終了年度	6　年度		

3　計画の（内容・実施状況）

計画の（内容・実施状況）	別添のとおり

注　用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

標準様式第1号・標準様式第2号

（第1面）

1　CO_2ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

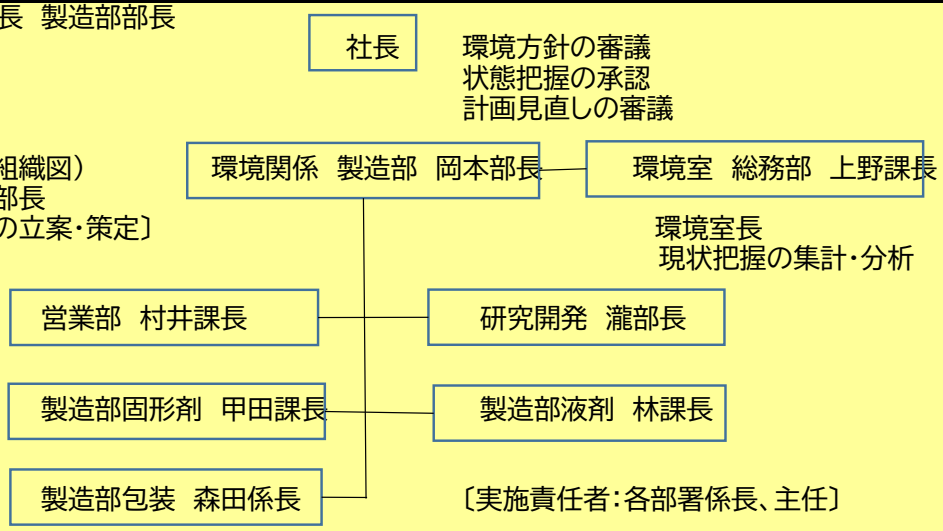
私たち大昭製薬株式会社は、医薬品製造業として、環境に配慮した製品提供に努めてまいります。

1. 事業活動を通じて、環境負荷を最小限にする仕事の仕組みをつくり、環境の保全と汚染の予防に取り組みます。
   ①CO2排出を削減に努めます。
   ②省エネルギー・省資源に取り組みます。
   ③廃棄物の削減と再資源化に取り組みます。
2. 事業活動を通じた環境保全活動を定期的に見直し、継続的な改善に努めます。
3. 環境保全に関連する法規制を遵守します。

2　取組の推進体制

○　責任者　社長　製造部部長

○　推進体制（組織図）
議長：製造部長
〔環境方針の立案・策定〕



3　これまでに取り組んできたCO_2ネットゼロ社会づくりに係る取組

○エアーコンプレッサー運転の最適化
　インバターコンプレッサーの導入（平成25年）
○ボイラーを工場稼働前より運転していたが、作業開始にあわせた環境確保（蒸気による温水・加湿）に短縮

○照明設備の使用していない区画の消灯及びタイマーによる不必要な点灯抑制
○事務用機器の不要時の電源切断　業務終了時に切断確認

4　自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

（1）エネルギー起源CO_2排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	冷暖房の運転管理　不必要な運転をしない。	令和2年度～令和6年度	継続実施中
2		温湿度計を設置して、必要なら外気を取り入れて運転抑制。	令和2年度～令和6年度	継続実施中
3		圧縮空気のエア漏れを日々作業全員で気をつける。(漏れ音発見時は上司連絡　未使用時は元バルブを閉める。)	令和2年度～令和6年度	継続実施中
4		ボイラーで最良の燃焼効率が得られるように日々排出ガス確認。	令和2年度～令和6年度	継続実施中
5		オイル・蒸気漏れを日々3回目視確認。	令和2年度～令和6年度	継続実施中

（2）エネルギー起源CO_2以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1		冷媒使用チラー年次点検実施(圧力計・安全弁点検及び冷媒漏れ確認)	令和2年度～令和6年度	年次点検7/8実施済み
2				
3				

（3）上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
目標に対し、年次点検は予定通り実地中 従業員に対しても朝礼含め伝達し監督者のパトロールも実施しているが、生産数量増加に伴い使用量増加もあり 前年比増加すると見込んでいます。	生産増により　2023/10月～ 8:30-17:30基本勤務に対し 14:00-23:00勤務及び夜勤 勤務も試行して生産対応を実施したためエネルギ消費量は増えて しまった。

（4）温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			（ 2 ）年度	（ 3)年度	（ 4)年度	（ 5)年度	（ 6)年度
原油換算エネルギー使用量	kL	150	113	389	770		
温室効果ガス総排出量	t-CO_2	381	279	341	379		
エネルギー起源CO_2	t-CO_2	381	279	341	379		
非エネルギー起源CO_2	t-CO_2	0	0	0	0		
CH_4	t-CO_2						
N_2O	t-CO_2						
HFCs	t-CO_2						
PFCs	t-CO_2						
SF_6	t-CO_2						
NF_3	t-CO_2						
エネルギー等原単位の推移		100.000	99.600	#####	#####		

備考　「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5　再生可能エネルギー等の利用に関する取組

（1）再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

（2）所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力･小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他（　　）	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

（3）再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			（　）年度	（　）年度	（　）年度	（　）年度	（　）年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						